

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2023/04/17

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.30	0.31
JPY/THB	0.2564	-0.0002
USD/JPY	133.79	1.21
EUR/THB	37.70	0.12
EUR/USD	1.0992	-0.0054
USD/CNH	6.873	0.001
SGD/THB	25.78	0.06
AUD/THB	23.01	-0.06
USD/INR	81.86	0.00
USD Index	101.55	0.54

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.088	0.000
10Y (THB)	2.486	0.000
5Y (USD)	3.606	0.105
10Y (USD)	3.513	0.068

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,002.2	-39.1
WTI (Oil)	82.52	0.36
Copper	9,023.5	-35.0

Stock

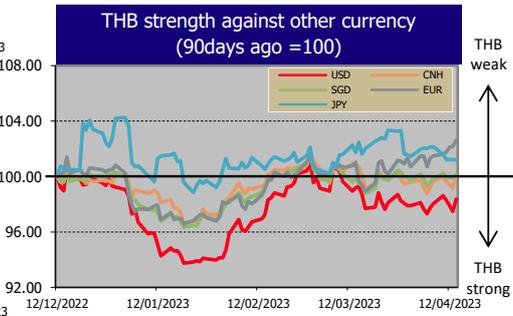
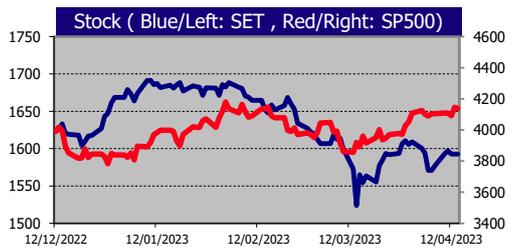
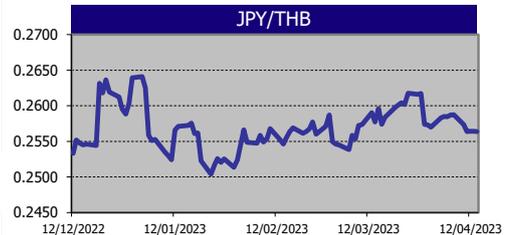
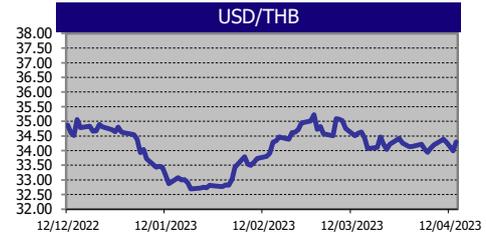
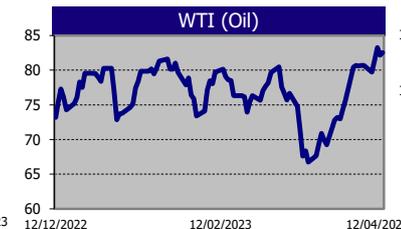
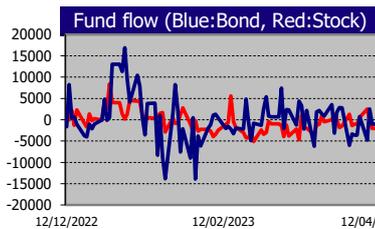
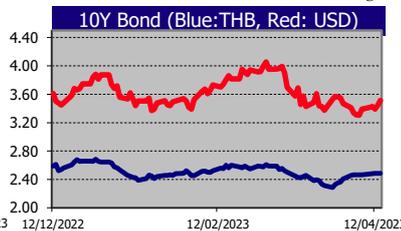
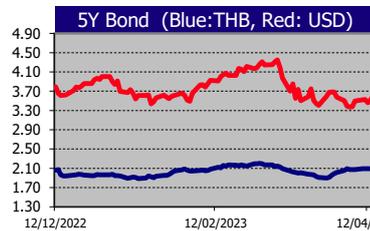
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,592.67	0.00
NIKKEI (JP)	28,493.47	336.50
DOW (US)	33,886.47	-143.22
S&P500 (US)	4,137.64	-8.58
SHCOMP (CN)	3,338.15	19.79
DAX(GER)	15,807.50	78.04

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,024)	0.0
Bond net flow	(1,011)	0.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

12日のドルパーツは34パーツ前半で始まり、同日夜間に発表を控えている米3月CPIを意識して小動き。同指標の伸びが市場予想に届かず鈍化したことに加え、公表された3月FOMC議事録がハト派な内容と捉えられてドル安へ動いた。13日はソクラン休日だったが、前日の米CPIやFOMC議事録を受けた米金利低下を受けて下落基調が継続。海外時間入り後は米3月PPIの下落が追い打ちをかけて34パーツちょうど近辺までドル安が進んだ。14日、34パーツを割り込むまで進んできたドル安が一服して、バンコク時間時刻には34パーツ前半へ反発。その後は米経済指標が懸念されていたほど悪化しなかったこと、1年先の期待インフレ率が上昇したことでドルインデックスが反発。FRB高官らのタカ派発言も加わり、米金利の上昇に押されてドルはこれまでの下落を急速に取り戻し、34.30レベルで引けた。

●ドル円その他

12日のドル円は133円台半ばでオープンし、米CPIを前に方向感に欠ける展開。海外時間入り後に発表された米CPIが予想を下回り、ドル安で反応。コアは予想ほど減速しなかったが、FOMC議事録がハト派色強く、133円台前半で引けた。13日は133円台前半で始まり、132円台に一時沈んだが、その後はクロス円の上昇にサポートされて133円台を回復。海外時間では米3月PPIが予想を下回り、132円台前半まで急落。しかし、その後は米株指数が堅調に推移してドル円をサポートすると、132円台半ばで引けた。14日は132円台半ばで取引を開始。実需の売買で上下したが、方向感が定まらず132円台半ばで海外時間へ渡った。米大手金融機関の1Q決算が予想を上回ったため、海外時間入り後はドル買い優勢。ウォラーFRB理事から一段の引き締めが必要とのタカ派発言も米株高に加わって米金利が上昇。ドル円は133円台後半まで急進して越過となった。

Bangkok Dealer's Eye

タイのソクラン休日直前である12日に発表された米3月CPIは全体の伸びが減速した一方、価格変動の大きい食品やエネルギー価格を除いたコアCPIは伸びが加速するという対照的な結果でした。市場はこの結果を受けて5月FOMC後はFRBが利上げを停止し、その上2023年中に2回の利下げに転じるだろうとの見方を持っています。しかし、14日にはFRB理事が積極的な利上げをしてきたにもかかわらず、その効果がインフレ率にあまり反映されていないため、一段の利上げが必要との発言をしています。加えて米小売売上高も市場の不安を他所に大きく悪化することなく、2月分も上方改定されたため、米家計部門の消費活動が大きく落ち込んでいないことを示す結果となっており、市場の金利予想とFRBメンバー発言や一部の指標にはギャップがある状況です。今週は米経済指標が予想を上回ったり、想定ほど悪化しなかったりすれば、直近約1年間のLow近辺にあるドルインデックスが反発しやすく、ドルパーツもボラタイルな展開となりやすいと考えます。(鈴木)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.